

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		むこうはら児童館運営費[むこうはら児童館運営事業]							
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 6	児童館費	事業番号	4	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	青少年課			青少年育成係		課長名	石川 博隆		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 4		
【施策名】 児童福祉の推進						総合計画書(ページ)	59		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	周辺に住む0~18歳未満の乳幼児、児童とその保護者。 →			市内の0~18歳未満の乳幼児・児童数 (令和4年3月1日現在)					
	② ①をどのような状態にしたいですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	①児童が児童館での遊びや行事を通じて成長できるようにする。 ②乳幼児が安心して遊び、保護者同士が交流、情報交換をできるようにする。 →			①児童の来館者数(延べ人数) ②乳幼児・大人の来館者数(延べ人数) (1)乳幼児 (2)保護者					
指標の推移	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	①児童の居場所の提供、児童向け行事の開催、ランドセル来館の実施 ②乳幼児の遊び場、保護者同士の交流、情報交換の場の提供。乳幼児親子向け行事の開催。1歳児親子サークルの実施。 →			①年間実施回数 (1)児童向け行事 (2)ランドセル来館 ②年間実施回数 (1)乳幼児親子向け行事 (2)1歳児親子サークル・2歳児親子サークル(平成31年度のみ)					
	対象指標	①の数値	人	過去2年間の実績	当該年度		成果目標		
	成果指標	②の数値	延べ人数	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	
目標	②の目標値 目標値設定の考え方 令和3年度は、国の緊急事態宣言発令にあわせ臨時休館、人数・時間制限等を行ったため、目標値設定不能。								
活動指標	③の数値	回	①123 ②292 ②118 ②18/20	①114 ②252 ②17 ②0/0	①111 ②292 ②17 ②14/0				
3 経費	事業費(実績)		円	9,499,994	11,524,402	12,832,475	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	7,478,894	8,280,182	10,300,475			
		特定財源(国・都・他)	円	2,021,100	3,244,220	2,532,000			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0			
		所要人数(再任用)	人						
事業費+人件費		円	17,809,994	19,904,402	21,082,475				
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和51年度						
	(2) 環境の変化		通常の児童館運営の外、学童の待機児童対策の一環として平成21年よりランドセル来館事業を開始し、現在では学童と独立した児童預かり事業として機能している。また、子育て支援の必要性が高まり、児童のみならず、乳幼児とその保護者を対象にした地域子育て支援拠点事業(子育てひろば)についても取り組んでいる。 令和2年度に引き続き、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館及び行事の中止が相次ぎ利用者が減少した。						

事業名称	むこうはら児童館運営費[むこうはら児童館運営事業]				
担当部署・課長名	青少年	課	青少年育成	係	課長名 石川 博隆

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	<p>【子育てひろば】・親子で楽しい時間を過ごすことができ、安心できる場所となっている。・子どもの変化や、家にいる時とは違った一面を発見することができて嬉しい。・お友だちができ、その交流の中でたくさんのお話を覚え、お話しがいっぱいできるようになりました。・異年齢の子とふれあうことで自分よりも小さい子への思いやりが生まれ、おうちでは経験出来ないことが児童館ではたくさん出来て、成長した姿を見る事ができました。・お気に入りのおもちゃができました。・初めてあそびにきた時はあそべなかったおもちゃが何度かあそびに来てるうちに楽しめるようになりました。</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館外での児童のマナーが悪い。(ゴミの放置、禁止されている場所でのスケートボードの使用等。) ・その後、外であそぶ子どもに対し、市民と相談の上、貼り紙や看板を設置して注意喚起を行い、見回りやゴミ拾いを随時行うことにより、児童の大幅なマナー改善が実現し、市民にお褒めの言葉をいただいた。 				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法：③ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()			
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 新型コロナウイルス感染症対策等を実施したうえでの市民協働の形態について検討するため、コロナ禍における催し及び協働の実施方法について検討する必要がある。				
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題(3)を転記) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策をさらに徹底する必要がある。 また、7-1) (・乳幼児親子について、行事以外の通常来館時も、より楽しめる環境を作る。・特に、幼児の利用に関して、ある程度の環境は整っているため、乳幼児親子の利用に重点を置き、改善する。・館外であそぶ子どもに対し、貼り紙や看板を設置し、注意喚起を行う。)を実行することができなかつたため、今後の課題とする。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策：1時間に1回の全館消毒や子ども達の来館時、催し開催時等の消毒の徹底、パーティションの設置、黙食、体調不良の子の親の引き取り対応及びその後の消毒等、出来る限りの対策を実施した。 ・乳幼児親子：子育てひろばの面積を倍以上に拡大(1部屋の半分しかなかったものを1部屋全てに拡大)。補助金を利用し、厚みのある抗菌マットを全面に敷設し、パーティションの設置やおもちゃの増設等も行い、乳幼児親子が安全でより楽しめる環境を整えた。 ・館外：館外であそぶ子どもに対し、市民と相談の上、貼り紙や看板を設置して注意喚起を行い、見回りやゴミ拾いを随時行うことにより、児童の大幅なマナー改善が実現し、市民にお褒めの言葉をいただいた。 				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) <ul style="list-style-type: none"> ・より充実した子育てひろば及び乳幼児事業の拡大を図る。また、引き続き利用しやすいよう環境を整える。 ・新たな生活様式を取り入れた児童館運営と環境整備を図る。 				
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名： 児童福祉の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、環境整備や衛生管理の継続が必要なため、新たな生活様式を取り入れた事業内容に改善する必要がある。 ・コロナ禍による子ども達の様々な経験の場が減少しており、それを少しでも補えるように事業内容を改善する必要がある。(ランドセル来館児童の利用人数増加が見込まれており、より役割が大きくなっている。) ・子育て支援事業の充実を図るため、職員の研修等の積極的な受講を行い、さらには利用者のニーズを汲み取り、より利用しやすい児童館を目指す。 				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に対する危機意識の継続。 ・固定観念を取り払った新たな事業内容の立案。 ・研修時間の確保。 ・利用者のニーズを汲み取る能力の向上。 				